

愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)

「中国学と現代中国学の構築」研究会・「現代中国政治とアジア世界平和構築」研究会

# 竹内好研究の方法 —日本近代思想史の立場から—

講師 岡山麻子 氏  
日本学術振興会 特別研究員

概要： 竹内好（1910年～1977年）については1960年代以降研究が重ねられてきた。それらは中国文学や中国近代史、日本文学及び思想史、更に時代状況論等、多岐にわたる竹内の業績に対応するように様々な領域からの研究で、近年では海外の日本研究者による研究も進んでいる。本報告では竹内の魯迅論から毛沢東論に至る中国研究を取り上げて、日本近代思想史の立場から、彼の仕事を支えた、時代に対峙する〈精神態度〉を解明する方法について考えたい。

竹内が戦時下の主著『魯迅』（1944年）で追求した「文学者魯迅」、戦後の「評伝毛沢東」（1951年）で指摘した「原始毛沢東」という人間像は、それぞれ既存の秩序と対立し、新たな価値創出を試みるものである。彼の仕事には常にそうした時代の価値秩序に対峙する自律的な〈精神態度〉が貫徹している。〈文学精神〉と呼ぶべきこうした精神態度に注目する研究方法によって、竹内好研究はその思想的核心的解明に至ると共に、西欧近代を規準とした他律的な日本近代に対する根源的批判としての意味を持ち、日本近代における自律的思想の系譜研究へと展望を切り開くと考えられる。

2005年11月26日（土） 13:30 ～ 16:00  
愛知大学名古屋校舎 研究館2階 第1会議室

\* 講演は日本語でおこないます（通訳あり）

\* 申し込み不要

【お問い合わせ先】愛知大学国際中国学研究センター(ICCS) 事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料